

MAKOTO
HONKOKU SHUJUKU
埸誠一郎句集

家系図

水戸つば気質
ときに現れ
青あらし

埸さんの人生の生き方の在り様を述べた句であるが、その時々瞬間を大切しながらも何事にも貞節に取り組んでいこうと姿勢がうかがえる

水戸つばの思い込んだらそれをとことん貫き通す一本気な性格なのである。

序より・能村研三

佗
助
や
男
の
習
ふ
茶
の
点
前

他
所
事
の
や
う
な
還
曆
冬
銀
河

上海
二句

柳絮飛ぶ朝や上海旧租界

遠き日の李香蘭みて朧月

チベット
三句

ダライラマ故事茫々の杏花村

ラマ僧の学ぶ寺道今年竹

チベットの牧夫は瘦せし牛冷やす

永年の勤務地丸の内（海上ビル）

遙かなる美観論争春の虹

永き日やむかし会社にタイピスト

根回しの効きたる会議目借時

もくれんや分厚き白の錆びてをり

遠き日の一丁倫敦春惜しむ

梅雨寒や乗り換へ惑ふ大手町

繰り返すそもそも論やソーダ水

危ふきは満場一致鴟猛る

冬あたたか男子厨に入りけり

捨て難き本読み返す煤籠

遊ぶにも天性あらむ揚雲雀

遠足や数へ直しの頭数

草を引く青竹踏みのそのあとに

梅雨晴や身を逆しまに風呂洗ふ

地震遙か南部風鈴鳴りにけり

青蚊帳や泳ぐ夢より覚めぬたる

夾竹桃 献血の列あつけなし

かなかなや皆既月蝕待つことに

父譲りの短気の質や鷹の爪

ち
ち
ろ
虫
警
策
の
音
近
づ
き
ぬ

蔀
上
げ
色
な
き
風
を
通
し
け
り

宇
宙
よ
り
地
球
は
青
し
照
紅
葉

開
戦
日
五
つ
並
び
し
時
差
時
計

板
塀
に
日
向
の
匂
ひ
冬
ぬ
く
し

首
き
し
む
鳴
子
こ
け
し
や
春
う
れ
ひ

遠
足
の
子
が
来
て
河
馬
も
薄
目
開
け

つ
ば
く
ら
め
電
波
飛
び
交
ふ
日
の
昏
れ
て

正調の安里屋ユンタでいご咲く

斜にかぶる遺影の帽子鉄砲百合

シャガールの羊を乗せて秋の雲

晒されし魚板のくぼみ冬隣

忽ちに似たる葱の字十二月

変哲のなき年なりし冬至風呂

つれあひと〇型同士着ぶくれて

ループ橋斜交ひに吹く春一番

花冷えやベッド近くに聖書置く

臍の緒は和紙に包まれ昭和の日

流人墓みな海を向き飛花落花

遠く見てまた遠く見て青き踏む

裏焼きの床屋の時計花ぐもり

愚痴言はぬ人と呼ばれて更衣

水羊羹上手な嘘を聞いてをり

ひぐらしや墓仕舞する父祖の里



句集 家系図 かけいず

二〇二三年一月二三日 初版発行

著者——塙 誠一郎

発行人——山岡喜美子

発行所——からんす堂

〒182-0002 東京都調布市仙川町一―一五―三八―二F

電話——〇三（三三三六）九〇六一 FAX〇三（三三三六）六九一九

ホームページ <http://kurusudo.com/> E-mail info@kurusudo.com

振替——〇〇一七〇一―一八四二七三

装幀——和 兎

印刷所——明誠企画㈱

製本所——鶴松岳社

定価——本体二八〇〇円＋税

ISBN978-4-7814-1479-9 C0092 ¥2800E

乱丁・落丁本はお取替えいたします。

著者略歴

塙 誠一郎（はなわ せいいちろう）

1941年（昭和16年）東京 本郷生まれ
大手損害保険会社に勤務

2001年（平成13年）作句開始

2006年（平成18年）「沖」入会 能村研三に師事

2015年（平成27年）「沖」潮鳴集同人

2021年（令和3年）「沖」蒼茫集同人

俳人協会会員

国際俳句交流協会会員

千葉県俳句作家協会会員

市川市俳句協会幹事

沖同人会副会長